

# 次世代エネルギーワークショップ(若手社会人編)

## ～30年後のエネルギー選択を考える～

日時：2018年1月31日(水)

9:00～18:00

場所：上智大学2号館17階会議室

(千代田区紀尾井町7-1)

主催：エネルギーワークショップ  
実行委員会

共催：一般社団法人 環境政策対話研究所

後援：文部科学省、環境省、資源エネルギー庁、特定非営利活動法人持続可能な開発のための教育推進会議(ESD-J)、

協力：上智大学、公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES)、東京商工会議所、一般社団法人日本原子力産業協会、一般社団法人日本電機工業会、一般社団法人日本風力発電協会、一般社団法人 太陽光発電協会(申請中)

### ワークショップのねらい

エネルギー問題は、経済、環境、安全、国際関係、技術等が絡んだ複雑な問題です。2011年3月の東日本大震災に伴う原子力発電所の事故をきっかけに、エネルギー選択に関わる議論が時代の大きな要請となりました。加えて、昨年12月パリ協定が採択され、温室効果ガス大幅削減のためにも、長期的視野に立ったエネルギー選択の議論が益々重要となっています。

この長期を展望した課題解決には、未来社会の主役である若い世代の積極的な参加が必須です。『次世代エネルギーワークショップ』は、その議論の場を提供し、議論の実践を行う試みです。

### プログラム

9:00	開会挨拶	柳下正治(エネルギーワークショップ実行委員長)
9:10	全体オリエンテーション	篠田さやか(ファシリテーター)
9:25	エネルギー問題に関する知識の習得…専門家による講義 ①エネルギー政策の系譜 (藤木 勇光/電源開発(株)) ②エネルギー種毎の特徴 (木村 浩/NPO 法人パブリック・アウトリーチ) ③気候変動問題 (西岡 秀三/(公財)地球環境戦略研究機関)	以下、進行はファシリテーター 情報資料集・追加資料の活用
10:10	グループ作業……事前学習とレクチャーを踏まえて ①理解を深める ②レクチャーを聞いての気づき、質問づくり	付箋、模造紙の活用 質問の作成
—休憩(10分)—		
10:50	専門家とのQ&Aセッション…… <u>知識の共有</u> が目標	
11:20	ワークショップの進行における「未来社会像」と「視点」の説明	柳下正治
11:40	類似価値観グループの編成 「5つの未来社会」「8つの視点」を用いて個人の価値観を表出	ダイヤモンドグラム
—昼食(50分)— 自己紹介、グループ名を考える。		
12:50	グループ討議Ⅰ(類似価値観グループ) → <u>エネルギー選択に関する討議結果一次案</u> の作成	付箋、模造紙の活用
13:35	エネルギーシミュレーションの実施 (1)オリエンテーション (2)グループごとにシミュレーション実施 ・討議結果に基づき、入力データを作成 ・「2050低炭素ナビ」を用いてシミュレーション ・シミュレーション結果を <u>シミュレーション報告シート</u> に記入	芦名秀一(国立環境研究所)

プログラムの開発は、実行委員会に結集する研究者と株式会社博報堂合意支援プログラム「わかりあい」及び「博報堂ブランドデザイン」の連携の下に行われました。

(続き)

14:20	<b>グループ討議Ⅱ</b> (類似同価値観グループ) → <u>エネルギー選択に関する討議結果二次案</u> の作成	一次案を緑字で修正 必要に応じシミュレーションの実施
—休憩(10分)—		
15:05	<b>異価値観グループの形成</b> 各グループ一人が残り、それ以外の者は他グループに移動	付箋を活用
15:15	<b>グループ討議Ⅲ</b> (異価値観グループ) 互いの価値観や重視点の違いを知りあい、エネルギー選択の洞察を深める 意見をしっかりと伝え、他者の意見を敬意をもって聞き、意見交換	二次案を活用
—休憩(10分)—		
16:25	<b>グループ討議Ⅳ</b> (類似価値観グループ) → <u>エネルギー選択に関する討議結果を踏まえ、最終案を作成する</u>	二次案を赤字で修正、又は新規作成 必要に応じて専門家に質問
17:05	<b>発表</b> (グループ代表による) 最終案、討議の変遷、気付きと発見等を含めて	ボードに貼り出された模造紙を活用
17:45	<b>専門家コメント</b>	
18:00	閉会挨拶、終了	

\* 終了後、参加希望者による交流懇親会(会費制)を、上智大学2号館5階教職員食堂にて実施します。

### ワークショップの成果

- ① 目指すべき未来社会像
- ② エネルギー選択において重視した視点(こだわること/負ってもよい不利益)
- ③ 将来のエネルギー需要、電力の総需要量(省エネルギーに関する検討結果)
- ④ 電源構成(併せてシミュレーションにより得られたデータ等)
- ⑤ 最終案までの間における検討で得られた気付き・発見・・・討議における論点、争点や残された課題、特に重視しなかった視点に対する考察等

### エネルギー・環境に関する専門家

木村 浩 (NPO法人パブリック・アウトリーチ研究企画部  
研究統括、(一社)環境政策対話研究所理事)  
西岡 秀三 ((公財)地球環境戦略研究機関参与)  
藤木 勇光 (電源開発(株)秘書広報部専任部長)

### エネルギーシミュレーション開発に係る専門家

芦名 秀一 (国立開発研究法人国立環境研究所  
企画部国際室室長)

### ファシリテーター

篠田 さやか (オフィスキュア代表)

### エネ 委員

委員/秋元 智子 (埼玉県地球温暖化防止活動推進  
センター事務局長、特定非営利活  
動法人環境ネットワーク埼玉理事)  
織 朱實 (上智大学大学院地球環境学科教授)  
木村 浩 (NPO法人パブリック・アウトリーチ研究  
企画部研究統括)  
佐藤 真久 (東京都市大学環境学部・大学院環  
境情報学研究科教授)  
藤木 勇光 (電源開発(株)秘書広報部専任部長)  
山下 紀明 (NPO法人環境エネルギー政策研究  
所理事・事務局長)

### エネルギーワークショップ実行委員会事務局

一般社団法人 環境政策対話研究所  
〒160-0015  
東京都新宿区大京町31-22 エクレール外苑西202  
Tel:03-6883-8865

e-mail : [sophia.ngews@gmail.com](mailto:sophia.ngews@gmail.com)

担当:飯野、植田